

りんぽかんだより

2026年5月1日
第266号
発行・宮ノ原隣保館
TEL 42-4620

6月7日(日) 第5回縁づくりフェスタ開催!

6月7日(日)、第5回縁づくりフェスタが行われます。昨年度も多くの方に来ていただき、盛大なフェスタを行うことができました。なかには参考にしたと江田島市外から来られた方もいたと聞き、嬉しく思いました。

今年度の最大の注目は、江田島小学校の児童のみなさんの参加です。昨年の12月7日(日)に行われた「第6回国際ヒューマンフェスタ」で6年生が考案した「江ッ! うま! シシグパン」をはじめ、6カ国の料理とコラボしたサンドイッチを販売しました。また、今年の2月8日(日)に行われた「島うまFES2026」では同じサンドイッチを販売し多くの参加者が選ぶ、「2代目えたじまグルメ王」で見事、特別賞を受賞しました。今回、どうしても参加して欲しいと思い、畠藤校長先生にお願いしました。そして、開発に協力していただいた「てくてくのさつまいも本舗」の井上社長さんにも参加していただく予定です。宮ノ原隣保館では人権と福祉のコミュニティセンターとして、住みやすい地域社会をめざしています。「多文化共生縁づくりフェスタ」に参加していただき新しい出会いや発見を通して心温まる時間を過ごしていただきたいと思います。



第4回縁づくりフェスタ(昨年度)の様子

特別賞

江ッ! うま! シシグパン

(てくてく & 江田島小学校6年生)

小学生が考案! フィリピンの郷土料理「シシグ」を、地元食材を使ったシシグパンとしてアレンジしました。



特別賞受賞を伝える広報えたじま

日本語クラブブース 相談をお受けします

現在、江田島市では約1000人の外国人が働いており、まさに江田島市の経済を支えていると言っても過言ではないと思います。その外国人の方に長く江田島市で働いてもらうためには日本語能力の向上が不可欠です。「第5回縁づくりフェスタ」では、日本語クラブで学ぶ内容や日本語検定などの相談に答えるためのブースをつくりたいと考えています。



りんぽかんへ聞きたいこと

講座申込・会館利用申請・相談について・その他(該当するものに○をしてください。)

名前

TEL

ご質問など

さくら はな み 桜の花を見てかえりました！

4月がスタートした1日(水)、藤三ショッピングセンターへ出かけました。総勢21名の方に参加していただき、買い物支援サービスも20回を超えて行うことができました。参加していただいている方の会話も弾み、温かい雰囲気を感じる事が多くあり、私たちも嬉しく思っています。

そこで、20回目の買い物支援サービスはふだんと違ったことを行おうとみんなで話し合い、美しく花を咲かせた桜を見ようということになりました。秋月のしびれ峠の桜はたいへん有名で、ちょっとした弁当を買って帰りに行き、交流を深める計画を立てました。しかし、雨の後のあいにくのくもり空で食事をするには難しく、見学だけとなりました。それでも、峠から見る景色は美しく、「久しぶりに来た！」と喜んでくださっている方もいました。みんなで来年の青空を期待しました。



桜の花といっしょに写真を撮りました

ねんかん みまも 15年間の見守り ありがとうございます

朝の7時30分頃から、宮ノ原隣保館の前に立ち、江田島小学校へ向けて出発するスクールバスへ乗る児童の安全と励ましの声をかけ続けていただいた、三宅茂樹さんが15年間の見守りの活動を終えることになりました。児童数の減少で地域での子どもたちの声を聞くことも少なくなりましたが、朝のほんの短い時間に聞く声はとても貴重なものでした。このような地道な活動は児童の心を豊かにする大切な地域の教育だと思えます。三宅さん15年間、ほんとうにありがとうございました。



けんき さくら はな さ 元気な桜の花 咲きました！

テレビなどのニュースでよく聞くようになった大きな木の倒木。今、学校でも桜の木が倒れ、子どもたちにけがをさせてしまう危険性があり、木を切らざるを得ないこともあります。ここ、宮ノ原交流プラザでも桜の木を切ることになりました。しかし、2月の終わりに切った桜の枝を水の入った石臼の中に入れておいたところ、なんと小さな花を咲かせてくれました。桜の木を切ることにいろいろな思いを持っていましたが、最後の力を振り絞って咲いてくれた桜の花を写真に残したいと思い、シャッターを押しました。



石臼の中の桜の木